

静岡市清水区感染症発生動向

2014年 4週

集計期間 1/20-26

	-6M	6-12M	1Y	2Y	3Y	4Y	5Y	6Y	7Y	8Y	9Y	10-14Y	15-19Y	20Y-	
RS感染症												1		1	
咽頭結膜熱					1	1	1							3	
溶連菌感染症						2	3	2				2		9	
感染性胃腸炎		3	3	8	13	35	23	21	12	5	12	29	3	167	
水痘			2			5	5	1	1					14	
手足口病															
伝染性紅斑															
突発性発疹	1		4											5	
百日咳															
ヘルパンギーナ															
流行性耳下腺炎															
麻疹															
風疹															
マイコプラズマ															
髄膜炎															
MCLS															
小児科Flu	1	3	1	6	4	7	5	20	11	10	12	39	1	2	122
小児科定点総数 321 増減 76 前週比 131% 定点当たり 53.5															
病院:開業医 10:311 増減 +7:++69															
内科Flu								1	2	1	2	5	4	22	37
インフルエンザ総数 159 増減 72 前週比 182.8% 定点当たり 17.7															
小児科:内科 122:37 増減 +42:+30															

総数321、前週の131%と、大幅に増加です。

首位は、感染性胃腸炎、前週比112.8%、定点当たり27.8と増加です。

2位は、インフルエンザ、前週比152%、定点当たり20.3と増加ですが、頭打ちです。

3位は、水痘、前週比350%、定点当たり2.3と増加です。

4位は、溶連菌感染症、前週比100%、定点当たり1.5と流行中です。

以下は、インフルエンザに抑圧されて、全て、定点当たり1未満で少数です。

RSウイルス感染症、1名になりました。

内科も含むインフルエンザ、倍増まで増えず、9定点中、8定点から報告です。

小児科定点は、A型70、B型13、型報告無39で、A型が84%とB型が増えて来ました。

内科定点では、A型28名、B型9名で、A型が75%で、やはり、B型が増えています。

A型は、小さな山で、2月後半、B型が、爆発するのでしょうか？

1/26小児科当番医は、来院116名、Flu迅速テスト施行72名、A31名、B10名。

臨床的にインフルエンザで検査せず3名で、44名インフルエンザでした。

他は、ノロ10名、溶連菌2名で、この時期としては、まずまず落ち着いた状況でした。